

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》染木布充

【概要】

かつて外交語として使用されていたフランス語は、今日でも国連、国際司法（および刑事）裁判所、国際サッカー連盟（FIFA）等多くの国際機関はもちろんのこと、スイス、ベルギーやアフリカ諸国など約30か国で公用語として使われている。また、約二億人が母国語あるいは第二外国語としてフランス語を使っているともいわれている。そのようなフランス語を、第二外国語として、総合的に学ぶ。

【学習目標】

[一般目標]

1. フランス語はフランス文化と相互作用を起こしながら発展・形成してきた言語である。フランス語を取り巻く「環境」や文化を体系的に理解することで現代フランス語固有の特徴を把握する。
2. フランス語によるコミュニケーション能力を身につけるために、「読む、書く」にとどまらず特に「聞く、話す」ことができるようになる。基礎的な文の意味を理解し、基礎的な文を聞き取り、基礎的な文を用いた会話ができる。

[行動目標]

1. 繰り字（スペル）と発音の関係を規定するフランス語特有の「規則」を修得することで、フランス語を正確に発音できる。
2. フランス語固有の動詞の活用と冠詞を理解し、動詞や冠詞を適切に使用できる。
3. フランス語の基本文法を修得し、シャンソンなどを聞きディクテすることで、フランス語の意味を深く解釈できる。
4. フランス語の基礎文法を活用して、フランス語で正しく相手に伝えることができる。例えば、「どこが痛いですか？」「1週間後にまたきてください」「お大事に」等。
5. 語彙力を伸ばす。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	フランス語は英語に次ぐ世界の公用語 フランス語はローマ字式には発音しない	フランス語の歴史およびフランス語を知っていると「世界」が近づくとする論拠を概括する。 フランス語の発音の特徴 母音 子音（特にrとlの発音を重視する） 鼻音	染木布充
2	「正義」は女性名詞	名詞の性と数（語末に注目）、数の数え方、曜日や季節	染木布充
3	性・数一致の原則	形容詞の性と数、所有形容詞、指示形容詞	染木布充
4	冠詞がわからないと、フランス語は理解不能の言語である	日本語には存在しない冠詞（定冠詞、不定冠詞、部分冠詞、無冠詞）を理解する	染木布充
5	文のニュアンスを変える	副詞、前置詞、（人称）代名詞、基本文型	染木布充
6	冠詞に慣れる	定冠詞、不定冠詞、部分冠詞を使い分けて冠詞を操る	染木布充
7	活用	基本文型 と動詞の「活用」という考え方 主語人称代名詞に慣れる	染木布充
8	活用のパターンを修得する	直説法という考え方 主要動詞の活用	染木布充
9	発音の精度も高め、冠詞の知識を深める	復習、小テスト	染木布充
10	疑問・否定のパターンを修得する	直説法疑問文・否定文	染木布充
11	命令文	命令文と命令法の相違	染木布充
12	比較表現	比較級	染木布充
13	過去時制	代表的な過去時制と近接過去	染木布充
14	未来時制	代表的な未来時制と近接未来	染木布充
15	総復習	定期試験対策	染木布充

【評価方法】

レポート 100%

【備 考】

教科書 : 沼田 五十六 他 著 「カジュアルにフランス語（改訂版）」 朝日出版社 2009年

参考書 : 仏和辞典（種類は問わない）

【学習の準備】

予習として20分。文を読み、発音を練習する。疑問に思う文法項目を自分なりに調べる。

復習として20分。語彙力を強化する。動詞の活用に慣れる。冠詞を理解する。学習した文法項目を確認する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。